

16名の議員が聞いた！ 一般質問

一般質問は、議員が市政全般にわたり、政策提言も含めて市に考えを聞くものです。平成24年9月議会では、16名の議員が登壇しました。全質問項目は左記のとおりです。

7ページからの本文は質問議員本人が執筆していますが、文字数が限られているため、要約して掲載しています。全文は、各図書館などに置いてある議事録か、インターネット（市議会ホームページ内の「会議録検索」）で閲覧することができます。



13 齋藤紀美江 議員 (旭日会) P.13

- 1. 図書館のありかたについて
- 2. 子どもを育む施策について
- 3. 吉田ふれあい広場の芝広場の改修と活用について

16 阿部健二 議員 (無所属) P.14

- 1. 6月議会での教育委員会の官僚的答弁について
- 2. 教科書に書かれている公務員について
- 3. 燕市政における官僚組織と官僚の逆機能について

2 本多了一 議員 (日本共産党) P.7

- 1. 市長の政治姿勢について
- 2. 農業政策について市の総合計画から問う
- 3. 商業、建設業の振興策について
- 4. 介護保険の改正に関して

4 樋浦恵美 議員 (公明党) P.8

- 1. 熱中症対策について
- 2. 学校図書館の充実について
- 3. ゴミの減量・再資源化の推進について

6 渡邊雄三 議員 (公明党) P.9

- 1. 防犯灯・公共施設のLED化について
- 2. 燕市内に漂う悪臭について
- 3. コンビニにおける証明書の交付について

8 埴 豊 議員 (旭日会) P.10

- 1. 財政問題について
- 2. 産業問題について
- 3. 公共下水道事業の進捗状況と負担金について

10 土田 昇 議員 (日本共産党) P.11

- 1. 地域医療の問題点と今後の対応について
- 2. 産業史料館の管理について
- 3. 不登校問題といじめの実態について

12 山崎雅男 議員 (旭日会) P.12

- 1. 安心・安全なまちづくりを進めるにあたり
- 2. 小・中学校の学期制について
- 3. 現庁舎の利活用について

15 中山真二 議員 (旭日会) P.14

- 1. 日本一輝くまちについて
- 2. 指定管理者制度について
- 3. 老朽化した空き家対策について
- 4. 補助金・助成金について
- 5. 産業について
- 6. 子ども園について

1 小林由明 議員 (旭日会) P.7

- 1. 生活保護について
- 2. 全ての人々が、もう一歩踏み出すための心の刺激策について
- 3. 学校でのいじめ問題について

3 中島清一 議員 (旭日会) P.8

- 1. 市長の政治姿勢について
- 2. 本市によせられた「ふるさと納税」の実績について
- 3. 教育問題について

5 渡邊広宣 議員 (鴻巣クラブ) P.9

- 1. 平成23年度決算からみる財政認識と中期的見通しについて
- 2. 指定管理者制度について
- 3. 奨学金制度の柔軟な運用について
- 4. 新市建設計画の進捗状況について

7 大原伊一 議員 (旭日会) P.10

- 1. 合併特例債事業後に最大の案件となるであろう行財政改革について
- 2. 本市における農業の6次産業化について
- 3. 若い世代の農業後継者確保について

9 齋藤信行 議員 (大河の会) P.11

- 1. ICT等を活用した授業の取り組みについて
- 2. 海外都市交流事業の状況について
- 3. おいらん道中等各イベント燕のPRを

11 丸山吉朗 議員 (大河の会) P.12

- 1. 市長就任2年半、市長当選時に掲げられていたテーマ、目標、またその後の政策について
- 2. 三条市栄地区のETC専用栄スマートインターチェンジについて
- 3. 分水熊森地区で信濃川にかかる万盛橋について
- 4. 燕祭りにおける花火打上げについて

14 タナカ・キン 議員 (無所属) P.13

- 1. 事業所LED化設備設置費補助金について
- 2. 仲町駐車場について
- 3. ハチの駆除について
- 4. 新庁舎のエレベーターについて
- 5. 新庁舎内の売店について
- 6. チタンによるモニュメントについて
- 7. 骨髄バンク・ドナー助成制度について

「もう一歩踏み出す」ための心の刺激策

問 何かやりたいが行動できていない「心がうずうず」している元気な方の力を、まちづくり・子育てに生かしてもらおう方策はないか。

答 「地域のために行動したいと」うずうずしている」方をぜひ紹介いただきたい。我々としても、取り組んでほしいこと、手助けしてほしいことがたくさんある。

問 生活保護に至る前の、社会生活に困難さを感じている方々への支援を充実することは、社会全体



小林由明 議員 (旭日会)

の元気を維持するために大切なものだと思うが、市の考えを伺いたい。

答 貧困ビジネスなどが社会問題化してきており、生活保護を受ける前に、いろいろな支援を行っていく必要を感じている。今後取り組みの充実を図っていきたいと思っている。

問 いじめの発見・解決が遅れ、悲惨な事件が後を絶たないが、その理由と対策を伺う。

答 児童生徒が発しているサインを的確につかむことができなかったり、現象として起こっていることとの背景を把握できずに、誤った対応を行ってしまったことが考えられる。これらに対応する教員の研修や、大人たちが、もっと子どもに関心を持っていく必要がある。

消費税増税は燕市の産業に打撃



本多了一 議員 (日本共産党)

問 消費税の税率を、現行5%から段階的に10%に引き上げる法律が8月10日可決された。消費税増税は燕市の産業にとつて大変な影響が出てくるのではないかと心配する。市長の政治姿勢として、消費税増税について見解を伺いたい。

この問題で私たちは、燕市の業界団体や有力な会社を事前に



訪問したが、多くの人たちは増税に反対であった。ある会社の専務は「今の時期に税率を5%以上引き上げることは事業者にとって大変なことだ。1997年に3%から2%引き上げたときよりもっと大きな影響が出ることは容易に予想ができる」と語っておられた。これに対する市長の感想・見解をお聞かせ願いたい。

答 消費税法案の成立について、基本的に社会保障の持続可能性という観点から、中長期的には避けて通れない課題だと考える一方、私としては消費税率の引き上げの時期について、現在の景気低迷、あるいはデフレが続いている中、慎重に対応すべきと申し上げてきた。今回、ある意味拙速な形で導入されたことを、残念に思っている一人だ。ご指摘のとおり、地場産業や地域経済にいろいろな影響が出てくるのではないかと心配している。

ひとくちメモ… 一般質問の人数に制限はありません。1人当たりの質問時間は30分以内です。質問を行う議員は、事前に「こんな質問をします」という通告を書面で行います。本会議における質問の順番は受付順となっています。



中島清一 議員 (旭日会)

ふれあいトークで 寄せられた要望は

問 市内3会場での「市長とのふれあいトーク」が実施された。参加状況はどれくらいだったのか。市民からはどのような質問や要望が寄せられたのか。市長の感想を聞きたい。

答 3会場を合計すると150人ほどの参加があった。寄せられた質問や意見は、市の財政状況・福祉・教育に関するものをはじめ、人口の減少抑制対策・冬季の除雪対策等々多岐にわたり、都合13人から22件の

質問があった。今回は市の施策だけでなく、個別のテーマについても解説したが、理解をいただくよい機会になったと受けとめている。市民からは地域に密着した質問、要望等を直接聞くことができた。会場で寄せられた市民の生の声も生かしていきたい。今後もこのふれあいトークを継続したい。



吉田産業会館での市長とのふれあいトーク

問 大手企業の海外シフトを背景に、中小企業の海外進出がさまざまな形で加速している。海外展開を考える市内企業の支援策について伺いたい。

答 経済がグローバル化していく中で、燕の中小企業もこのグローバル化の波を避けて通れない。その波にどう対応するか真剣に考える必要がある。今後ともいろいろな関係者の話を伺いながら、支援策の検討を進めていきたい。

奨学金制度の柔軟な運用を！

問 県内30市町村のうち27市町村で奨学金制度を設けている。その市町村が、他の奨学金制度との併用を認めているが、燕市は認めていない。また、その返還期間は10年と他自治体と同じだが、据置期間は1年としている自治体が多い中、燕市は6カ月としている。経済状況などにより収入が減ってきている今日、利用しやすい制度に改善すべく奨学金の併用、所得に応じて返還内容の変更について相談しながら、柔軟な対応に努めている。



渡邊広宣 議員 (鴻鳩クラブ)

今後は他制度との併用をはじめ、返還期間、奨学金の額などすべての面で夢に向かってチャレンジする子どもたちを応援していく上で、より利用しやすくなるように現行制度を再点検していきたい。



▲3年連続、全国から志願者の多い大学



▶高校でも奨学金は受けられる

ギインホンニンガ・シッピツシテイマス

公共施設防犯灯のLED化を！

問 市内には防犯灯と水銀灯を合わせて約1万7000灯あるが、電力会社に支払っている電気料金とLEDにかえた場合の年間電気料金を伺う。

答 年間の電気料金は、6053万円、これをLEDにかえた場合4121万円となり、1932万円の電気料金の軽減になる。

問 市内民間事業所へLED照明設備に要する経費の3分の1を上限50万円で補助しているが、なぜ市が電力会社に直接支払っている公共施設、防犯灯のLED化を進めて電気料金の軽減を優先にしなかったのか。



渡邊雄三 議員 (公明党)

答 コンビニでの証明書交付については、利便性もあり一定の効果が期待できる。初期投資が高額で年間経費も350万円、市の負担も大きいので、将来的には検討する考えはある。

問 現在、一部自治体で実施しているコンビニでの各種証明書の交付を、市として検討する考えはあるか。

答 公共施設防犯灯などをLEDに切りかえることによって、経済的にも環境的にも効果があらわれることは指摘するとおりだが、事業を進めるには多額の設置費用が必要になるため、国などの有利な補助制度を検討している。また、事業の活性化とともに環境面に配慮し、事業所のLED化を優先することにした。



公共施設にもLED化を(燕図書館)

小中学校、保育園・幼稚園の熱中症対策！

問 小中学校の普通教室の冷房設置について、中学校は今年度残りの1校も整備される。小学校は1校のみ整備されているが、今後の対応は。熱中症対策として、小中学校や保育園・幼稚園に、気化熱で周辺気温を下げる効果のあるミストシャワーを設置できないか。

答 小学校については、分水小学校を除き、普通教室の冷房は整備されていない。直ちに設置することは難しいが、他市では扇風機を設置している事例もあり検討したい。

吉田中学校には独自に自作したミストシャワーがあるので、効果



普通教室の冷房が設置されている分水小学校



樋浦恵美 議員 (公明党)

について精査をし研究したい。

問 学校図書館の充実について、市内の小中学校の司書教諭の配置状況は。専任の学校司書を配置する考えはあるのか。

答 司書教諭は12学級以上の学校に必ず置くことになっており、小学校6校と中学校3校に配置している。

専任の学校司書の配置はしていないが、学校支援地域本部事業の一つとして、図書館ボランティアの皆さんに業務をお願いしている。

問 ごみの再資源化として、プリンターの使用済みインクカートリッジのリサイクルを推進する事業があるが、参加する考えは。

答 非常にいい事業であると認識している。市としては参加するということで、手続を進めている。



おいらん道中などで 燕市のPRを



齋藤信行 議員 (大河の会)

問 おいらん道中をはじめとする各イベントでの燕市のPRをどう進めているのか。観光に関する人材をどう考えるか。各イベントをリンクさせることでPRも効率よくできるのではないかと。各イベント

答 キャラクターとしては、おいらん道中の場合「きららん」があるので、観光協会が統一されてくれば、よりその位置づけも正式なものになってくるのではないかと。おいらん道中の場合「きららん」があるので、観光協会が統一されてくれば、よりその位置づけも正式なものになってくるのではないかと。

問 観光などでのキャラクターなどは考えているか。

答 キャラクターとしては、おいらん道中の場合「きららん」があるので、観光協会が統一されてくれば、よりその位置づけも正式なものになってくるのではないかと。



市営住宅など公共施設のあり方、必要性が求められる

問 市の施設で10年以内に耐用年数を迎える施設について、少子高齢化、人口減少を踏まえた上で整備を進める必要性があるか。

耐用年数を迎える公共施設の今後のあり方は



大原伊一 議員 (旭日会)

答 昨年7月に農家・商工会議所・商工会・農協及び消費者団体等からなるつばめ6次産業化推進協議会を立ち上げた。燕市特産品等の開発、定着を図っていききたい。また、市内食品製造業、加工業者、農業者の参加を得て、燕農商工連携力アップを深めていききたい。

問 つばめ6次産業化推進事業は何を目指しているのか。6次産業化に向けた取り組みと成果・事例について伺う。

答 つばめ6次産業化推進事業は何を目指しているのか。6次産業化に向けた取り組みと成果・事例について伺う。



混乱する国政が 市政に及ぼす影響は？



埴 豊 議員 (旭日会)

問 国の特例公債法案が成立困難となり、平成24年度予算約24兆円のうち92兆円のうち38兆円の執行ができない情勢である。さらに混乱をきわめる政局の行方次第では、25年度予算にも大きな影響があると考えられるが、考えを聞く。

答 特例公債法案は、財源不足を補うための特別法であり、この法案が年明け以降も成立しなければ、補助事業の予算や特別

問 平成21年12月に2年間の時限立法として施行された中小企業金融円滑化法・通称金融支援法が平成25年3月に期限切れとなる。景気低迷・販売不振の中小企業を金融面で支える重要な施策が終わる。この法案切れを間近に控え、中小零細企業がその大部分を占める産業界の実情調査の必要性、認識を聞きたい。

答 金融支援法の打ち切りには強い関心があり、8月に調査を担当する産業界の実情調査の必要性、認識を聞きたい。



地域医療の問題点と 今後の対応は

問 県央地域は以前から救命救急センターの建設が強く求められてきた地域であるが、新潟県は以下の4点について明確にした。
① 具体的な医療提供体制の方向性に基づいて、500床規模の病院の設置及び既存病院の役割分担に向けて、具体的な調整を県が行う。
② 新潟県として県立の加茂病院の廃止、縮小は考えない。
③ 経営主体等との再編に向けた調整役は県が行う。
④ 複数の案を検討し、次回の合同会議に報告する。



答 合同会議で説明があった。その後、燕労災病院と厚生連三条総合病院の2つの経営主体として、この問題について経営主体としてやる気があるかどうかということの協力要請を行って、今月中を回答期限に返事を待っている状況である。



土田 昇 議員 (日本共産党)

市としては、燕労災病院が一つの候補として挙がっているという意味で、非常に期待が持てると思っている。今後示される案に注視する。



問 指定管理されている図書館は全国で一割程度であり、指定管理についての評価は定まっていな。市民の知的財産のあり場所とも言える図書館の将来像を示し、もっと充実させてからでもよいのではないか。教育立市宣言にも反するのではないか。

答 図書館の指定管理は教育立市宣言に反することはない。厳しい財政状況の中で多様化する市民ニーズに対応していくためには、官と民、役割分担しながら質の維持、さらなる向上に取り組む。

問 水道町の自治会長及び西小PTA、大関小PTA連名で児童館建設の要望書が出されている。幼・保の適正配置と絡めて、地域の子育て支援施設について検討していく。

答 水道町の自治会長及び西小PTA、大関小PTA連名で児童館建設の要望書が出されている。幼・保の適正配置と絡めて、地域の子育て支援施設について検討していく。



齋藤紀美江 議員(旭日会)

問 部活動の目的と目標についての再認識が必要ではないか。「勝つ」ことが目的になるとさまざまなあつれきが生まれる。

答 部活はスポーツの楽しさや喜びを味わい、学校生活に豊かさをもたらし、人間的な成長を促すという意義がある。指導者の心構えというのは非常に重要と考える。

問 秋葉町児童クラブの現状認識はどうか。夏休みは手狭で大変な状態だった。地域から要望も出されている。

答 水道町の自治会長及び西小PTA、大関小PTA連名で児童館建設の要望書が出されている。幼・保の適正配置と絡めて、地域の子育て支援施設について検討していく。

どうなる！ どうする！ これからの「図書館」

市長の目指す日本一輝くまちとは



丸山吉朗 議員(大河の会)

問 市長は、燕市が具体的に何がどのようになった場合に、日本一輝くまちと考えているのか。

答 市民の活動、企業の活動、行政の取り組み等が世間的に、全国的に注目されるよう活発に行われるため、取り組む人々の姿勢、心の問題ととらえている。今後とも市議会や市民の皆様のご意見をいただき、引き続き目標を目指して誠心誠意取り組んでいきたい。

問 市は、栄スマートインターをどのように評価し、活用しようとしているのか。またどのような影響があるか。

答 栄スマートインターは、栄スマートインターをどのように評価し、活用しようとしているのか。またどのような影響があるか。



分水熊森地区の信濃川にかかる万盛橋

問 万盛橋の改修を市として県に要望していると思うが、見通しはどうか。

答 運転者に譲り合いを促すような標識の設置が可能か、高欄の改修も合わせ、引き続き地域の皆さんの声を県に伝えるよう努力していく。

問 空き家は、不審火による火災の危険性や犯罪の温床になり得る可能性を秘めている。空き家の適切な管理を所有者に義務づけ、老朽化や人的・自然的災害等の危険回避や空き家の定住促進有効活用を図るべく、措置や施策を盛り込んだ具体的な条例制定を真剣に取り組むべきではないか。

答 来年度当初条例制定を視野に入れ、空き家対策を検討したい。燕市リフォーム補助、まちなか定住促進補助と組み合わせ、グランドデザインを描いてみたい。

市民の目線に立った行政運営を！



山崎雅男 議員(旭日会)

目線を置いて協議・検討すべきで、市民の声を形にできる行政・政治であるべきでないか。

答 中央図書館にするには、整った整備をしなくてはならない。平屋棟に加えて3階まで手を加えないと難しく、膨大な費用がかかる。



速やかとはどれくらいの期間なのか



タナカ・キン 議員(無所属)

問 仲町駐車場は老朽化により危険で、取り壊すか、継続して使用するには耐震補強工事が急務であると判定されていた。民間に売却する際、建物の耐震補強工事を速やかに実施することが条件だったが、いまだにされていない。

答 仲町駐車場は老朽化により危険で、取り壊すか、継続して使用するには耐震補強工事が急務であると判定されていた。民間に売却する際、建物の耐震補強工事を速やかに実施することが条件だったが、いまだにされていない。



問 市は、契約内容の履行をどのようにチェックしているのか。

答 売却してから5カ月が経過、市としては相手の事業者に対し計画どおり履行するようにと折を見て話をしていく。

問 耐震補強工事の実施期間だが、市の考えていた速やかとはどれくらいの期間のことか。

答 遅くとも前半の中で補強していただければという認識である。

問 仮にアパートに住んでいて、「取り壊してマンションを建てるので出て行ってください」という契約では、何月何日までという期限が切つてあると思う。この民間の事業者との契約時において、期限は明記されていたのか。

答 契約書には「平成23年10月14日付燕市告示第317号に基づき、信義を重んじ、誠実に本契約を履行しなければならない」と明記されている。告示の317号において、建物の耐震補強工事を速やかに実施することが売却の条件というのが契約の中での明記の仕方である。

視察見聞レポート

9月12日 全議員を対象に視察研修を行いました。

福島県田村市

学校給食センター

施設の概要…田村市の学校給食未実施校の解消と、既存給食センターの老朽化に伴い、市内小・中学校・幼稚園を対象とする新たな学校給食センターを建築。平成24年1月1日供用開始。

施設の特徴…夜間電力を活用する空調機・給湯器や最新の高効率電気厨房機器を備えたオール電化施設。最大食数 4,300 食。



燕市でも今後2つの給食センターの建設が予定されており、意義のある研修となった



福島県河沼郡柳津西山

地熱発電所

施設の概要…平成7年5月に運転を開始した、日本最大の地熱発電所。

燕市議会ではソーラー発電誘致に取り組むなど、エネルギー問題に関心を高めており、環境への負担が少なく、純国産のクリーンなエネルギーである地熱発電について研修を受けました。

セイガンハ・ダレデモ・ダセマス

請願

全会一致採択

皆さんの要望を議会はこう審議しました

■私立高校生が学費を心配せず学べるように私学助成の増額・拡充を求める意見書の採択に関する請願

請願者
新潟県私学の公費助成をすすめる会
会長 中村直美

議員発議

賛成多数可決

■国民の健康を守り、ドナーの骨髄提供しやすい社会環境づくりを図る「骨髄バンク・ドナー助成制度」創設を求める意見書

発議内容
平成24年6月議会へ提出され採択された燕市での「骨髄バンク・ドナー助成制度」創設を求める請願を受け、本制度は広く世間一般に普及されるべきとの考えから、国への制度創設を求めるものです。

指定管理委託と再就職

問 指定管理者制度が、民間の安いコストを利用した下請け依存になっていないか。また指定管理委託によって減った分の仕事は役所の人員の削減につながっているのか。

答 公共サービスの水準確保にサービス提供者を指定するもので、単なる価格競争による入札ではない。また人員の一定の削減効果もあり、指定管理者制度の導入で、地域の人材の活用、地域団体の育成や振興にも寄与している。



建設が進む「燕南こども園」

問 指定管理委託、アウトソーシングによる人員削減数は。

答 吉田南地区統合保育園や学校給食センターの民営化、可能な施設の指定管理を含めて20人程度の削減を見込んでいる。

問 補助金が多く出されている組織に燕市の旧職員が再就職しているが、どのような理由か。また無償貸与など、人物・金の3点セットの委託が続く今後の時代を、どのようにとらえているのか。

答 当該団体また旧職員も能力や知識、経験等を互いに役立てたいと職につかれています。市が各団体へ職員の就職をあっせんしている事実は全くない。退職後の再就職を市が面倒を見なければならぬ状況は一切なく、コンプライアンス条例を就任早々つくらせていただき、業務に問題が起きないように法令遵守に努めている。



中山眞二 議員(旭日会)

市議会は市の命令系統の一部か？

問 正しくない命令でも遂行されてしまうのが官僚組織だが、市長は命令の正しさを判断するときに議会に耳を傾けようと思っていないのか、それとも、議会は市という管理組織の上意下達の指揮命令系統の一部と考えているのか。

答 議会は市という管理組織の上意下達の指揮命令系統の一部と考えているかとの言い方をされたが、一切そのようなことはなく、二元代表制であり市議会議員の皆さんには市民の代表として敬意を表



阿部健二 議員(無所属)

し、真摯に対応させていただいている。
例を挙げれば、メガソーラー発電が県内でも市町村レベルでも先がけてできたわけだが、私がある気になったきっかけは市議会での提案で、この提案がなければ実現はなかったと理解し、素直に感謝申し上げたいと思っている。

問 民主主義の原理とは全員にかかわることは全員によって討議され、同意されなくてはならないとされているが、現政府の原発再稼働への政治姿勢は、民主主義の原理にかなっていないと思われるか。
答 現政府の原発稼働への政治姿勢については、現政府の政府内議論し、政策については国会で議論していくものと思っている。法にのっとり政策が決定されていくことが、民主主義の原理であろうと考えている。



メガソーラー発電施設(上河原地内)